

行政視察報告書

平成28年9月20日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 徳清会

議員 栗尾 順三

議員 仁科 文秀



議員 森岡 聰子

議員 大山 盛久



下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】群馬県草津町

住 所	群馬県吾妻郡草津町草津28番地
電 話	0279-88-0001
視察案件	総合保健福祉センターの業務運営について
期 日	平成28年8月31日～9月1日
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	草津町総合保健福祉センター
概 要	<p>●草津町では、住民参加型の保健・福祉の拠点として、「健康で安心して暮らせる町」を目標にさまざまな福祉活動と健康づくりに活用できる各種の事業を展開している。</p> <p>●総合保健福祉センターの中には、①地域包括支援センター②地域福祉センター（入浴やカラオケ、囲碁などが楽しめる）③社会福祉協議会④在宅介護サービスセンター（通所・訪問介護サービスなど）⑤いきいきプラザ草津（介</p>

護予防活動拠点施設)がそれぞれあり、1か所で赤ちゃんからお年寄りまでの総合的な健康に関する事業をおこなっている。笠岡市よりは多くの機能が集まっている。規模の小さな町としてきめ細かい対応をしている。

- 介護予防把握事業では、「にっこり健診」という町内の65歳以上の人が無料で受診できる事業がある。

これは、生活の間診から始まり、血圧、血液検査、心電図、動脈硬化測定、眼底検査、運動機能検査、口腔機能・歯科検査など、約2時間程度で終了する多くの検査を実施している。まだ、対象者全員が受診するところまでっていないが、受診率も上がっており、健康寿命も延びているという。

- 草津町と東京都健康長寿医療センター研究所との共同研究事業

草津町では、平成13年度から10年間に渡って、介護予防のまちづくりを通じ、高齢者の健康寿命の延伸、介護保険・医療保険の安定的運営、さらには全国に「介護予防・草津モデル」を発信することを目的に、共同研究をおこなってきた。その結果、草津町の高齢者の健康寿命は確実に伸び、生活機能の自立度の指標である、総合的移動能力と高次生活機能も徐々に向上しているという。その結果、人口の高齢化にも関わらず、新たに介護保険の認定を受ける者の発生率は減少し、介護保険認定率は全国平均よりも一貫して低く、その差は年々拡大しているという。上記の「にっこり健診」も大いに効果があったと結論付けている。

また、「いきいきアンケート」を実施し、70歳以上の住民には訪問面接により、また途中からは65歳以上まで対象を広げ、郵送で簡易健康調査をおこなっている。この調査は、草津町に住む高齢者全体の健康度の推移をみることができ、事業評価にとってはなくてはならないものとなっている。

訪問面接調査は、民生委員や食生活改善推進委員がつとめたが、調査を通じて、地域の高齢者問題を再認識する場になったという。

- また、子どもへの対応としては、「5歳児運動健診」が参考になった。

これは、最近増えている発達障害、発達特性のある子どもたちの早期発見と早期支援を目的の一つにしたもの。幼稚園と保育園の子どもたちの交流の場にもなっている。

内容としては、ボール運動などを取り入れた集団での行動観察をする、はさみを使わせたり色塗りをさせたりして小グループ内での行動観察をする、3か月後に運動プログラムを実施し成長を観察するなど、工夫を凝らしている。これらの事業には、専門家チームの臨床心理士が関わり、保護者に向けて、就学までの子育てのポイントをレクチャーする。

その結果、動きが多くじっとしているのが苦手なADHD傾向の子ども、集中することが苦手なADDの傾向のある子ども、こだわりが強くマイペース型の子ども、がんばりすぎて無理をしてしまう子どもなど、観察と検査の結果を保護者へ早期にフィードバックしている。

	<p>こうした取り組みを経て、さらに保護者への講演会を開催するなど、家庭教育支援につなげている。</p> <p>●これらの子どもを対象とした事業は、人口減少を食い止めることも目的の一つで、「なるべく多くの子どもたちに町に残ってもらいたい。一人ひとりの個性をみながら、大切に育てるための健診でもある。」としている。</p> <p>笠岡にもヒントになることが多い。</p>
添付資料	名刺、写真、資料



